

第3回 東京外環トンネル施工等検討委員会 有識者委員会

議事概要

■ 第3回 有識者委員会：令和2年11月5日

【議題】

- ・地表面陥没箇所周辺の地盤調査で確認された地中の空洞について

【議事概要】

- 今回の空洞の状況・大きさから、直ちに地表面に変状を及ぼすものではなく、緊急的な対応は必要ないが、空洞は早期に充填することが望ましいことを確認した。
- 今回のように空洞があった場合に留意すべき点は空洞深度と幅と地下水であり、空洞を確認した際は、これらの状況を速やかに調査したうえで、緊急的な措置の必要性や対策工事の内容を判断することを確認した。
- 陥没や空洞が発生した要因を把握するため、シールドトンネルの掘進データの確認に加え、地形、地質、地下水、並びに河川との関係についても調査するとともに、早急に原因究明を行うことを確認した。
- また、現在進めている空洞調査を速やかに実施するとともに、必要に応じて更に空洞調査を実施することを確認した。
- 引き続き、陥没箇所、空洞確認箇所およびその周辺の監視を重点的に行うとともに、周辺住民からの問合せ等に対し適切に対応することを確認した。

以上